

**2003 年度第 2 回私立大学図書館協会  
東海地区協議会図書館管理・運営実務責任者会議記録**

実施日時：2003 年 11 月 26 日（水） 13：30～17：00

場 所：覚王山・ルブラ王山

テーマ：「図書館業務アウトソーシング」

参加者数：19 大学（25 名）、1 業者（5 名）

**【報告】**

「名城大学の現状および図書館業務のアウトソーシングについて」

名城大学附属図書館 情報管理課長 飼沼 敏雄

名城大学の現状とここ数年の改革状況について紹介があり、その中で図書館がアウトソーシングを導入することになった経緯と業者選択までの経過について報告があった。また、実際にアウトソーシングしている業務の内容や、導入後に実感しているメリット、デメリットについても報告が行われた。

**【業者プレゼンテーション】**

「富士通の大学図書館アウトソーシング 東海大学の事例から」

富士通（株）教育文化ソリューション部 プロジェクト課長 野村 一成

大学図書館への取り組みということで、まず、富士通（株）が開発した図書館業務パッケージと電子図書館パッケージの紹介が行われた。さらに、富士通（株）では様々な課題を抱えている情報システム部門へのアウトソーシングにも取り組んでおり、その目的と効果、ならびに東海大学で導入された際の具体的な事例が紹介された。

**【グループ別情報交換会】**

< A グループ >

- 1．DB 利用教育について
- 2．アウトソーシングについて
- 3．役職者に求められるスキル
- 4．学生の図書館離れを食い止めるための方策

< B グループ >

- 1．外国雑誌の EJ 化への取り組みについて
- 2．館員のスキルアップについて
- 3．人材派遣・業務委託について
- 4．学術雑誌未納分（欠本）の清算時期等について

< C グループ >

- 1 . NII への登録について
- 2 . 館内マナーを維持するための対応
- 3 . アウトソーシングについて

以上